

平成15年3月期 第3四半期業績概況

平成15年2月4日

上場会社名 伊藤忠テクノサイエンス株式会社 (コード番号 : 4739 東証第1部)
 (URL <http://www.ctc-g.co.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 後藤 攻
 問合せ先責任者 役職名 財務・経理部長 氏名 中野 慎一 (TEL : (03) 5226 - 1200)

1. 四半期連結損益計算書等の作成等に係る事項

財務諸表等の作成に際して準拠した基準 : 中間連結財務諸表作成基準
 ・ 会計処理方法の変更の有無 : 無
 ・ 中間決算等と異なる会計処理の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無
 公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

2. 平成15年3月期第3四半期の業績概況(平成14年4月1日～平成14年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
15年3月期第3四半期	189,434	21.8	9,903	43.7	9,144	46.2	4,260	56.2
14年3月期第3四半期	242,273	16.0	17,585	17.7	17,011	18.6	9,720	14.5
(参考)14年3月期	345,303		21,810		20,672		12,089	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
15年3月期第3四半期	69.31	-
14年3月期第3四半期	158.06	-
(参考)14年3月期	196.58	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示す。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期まで(平成14年4月1日から平成14年12月31日まで)のわが国経済は、米国経済の回復の遅れや国内外株式市場の低迷等に加え、緊迫する中東情勢が世界経済の先行き不透明感に拍車をかけるなど、大変厳しい状況で推移しました。情報サービス産業におきましても、国内景気の先行き不透明感から企業の情報化投資は抑制傾向が続き、案件の見直しや先送りが見られました。

このような状況下、当社グループは企業のTCO削減や業務効率向上等のニーズに適合したソリューションの提案を活発に行い、潜在的な情報化投資需要の喚起に取り組みました。しかしながら、投資抑制傾向に加え、通信放送分野の案件が第4四半期に集中する傾向も反映し、当第3四半期までの連結売上高は189,434百万円(前年同期比21.8%減)にとどまりました。

利益面におきましては、採算管理と経費抑制を推し進めてまいりましたが、売上高の減少分を補うには至らず、経常利益9,144百万円(同46.2%減)、当期純利益4,260百万円(同56.2%減)となりました。

事業の種類別セグメントの概況につきましては、システム事業は通信放送分野の第4四半期売上集中傾向や投資抑制の影響から、連結売上高は160,528百万円となりましたが、営業利益は中間期の営業損失から利益に転換し1,541百万円となりました。サポート事業はこれまで販売したシステムに対する保守サービスが堅調に増加し、連結売上高28,906百万円、営業利益11,977百万円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株主資本比率	1株当たり 株 主 資 本
	百万円	百万円	%	円 銭
15年3月期第3四半期	147,177	99,226	67.4	1,614.10
14年3月期第3四半期	157,078	97,294	61.9	1,582.03
(参考)14年3月期	174,982	98,414	56.2	1,600.25

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
15年3月期第3四半期	9,651	178	1,500	31,900
(参考)14年3月期	15,906	1,528	1,508	23,965

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前年度末に比べ7,934百万円増加し、当第3四半期末には31,900百万円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は9,651百万円となりました。これは、法人税等の支払いが8,667百万円あったものの、売上債権の回収と仕入債務の支払いとの差額で17,916百万円の資金回収があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は178百万円となりました。この主な内訳は、CTCエンタープライズシステムセンターで使用するソフトウェア等の無形固定資産の取得による支出549百万円、テクノロジーベンチャーズ1号投資事業有限責任組合への追加出資400百万円、及び前連結会計年度に売却したSiebel Systems, Inc. 株式等の投資有価証券の売却による収入1,126百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は1,500百万円となりました。この主な内訳は、配当金の支払い1,329百万円及び長期借入金の返済による支出170百万円であります。

(参考1) 四半期個別経営成績等の概況(平成14年4月1日～平成14年12月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円
15年3月期第3四半期	169,745	2,500	7,336	5,385

	総 資 産	株 主 資 本
	百万円	百万円
15年3月期第3四半期	132,263	90,330

3. 平成15年3月期の連結業績予想（平成14年4月1日～平成15年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
通 期	323,100	16,200	8,500	138.27	

[業績予想に関する定性的情報等]

第4四半期（平成15年1月1日から平成15年3月31日まで）におきましては、金融機関の不良債権処理問題や中東情勢の動向など、景気に対する不透明材料が多く、予断を許さない状況にあります。こうしたなか、当社グループにおきましては、通信放送分野はもとより、全業種においてさらなる受注獲得と期末に向けて納入・検収の着実な進捗に注力してまいります。また、採算管理と経費抑制の手綱を緩めることなく、引き続き収益重視の経営を推進してまいります。

以上を踏まえ、通期の連結売上高は323,100百万円（前期比6.4%減）、経常利益16,200百万円（同21.6%減）、当期純利益8,500百万円（同29.7%減）を予定しております。

（参考2）平成15年3月期の個別業績予想（平成14年4月1日～平成15年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり年間 予想配当金	
				期 末	期 末
	百万円	百万円	百万円	円	銭
通 期	282,700	10,100	7,000	10.00	20.00

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

四半期連結損益計算書

伊藤忠テクノサイエンス株式会社

(単位：百万円)

摘 要	当第3四半期 〔自平成14年4月1日 至平成14年12月31日〕		前年度 〔自平成13年4月1日 至平成14年3月31日〕	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)
売上高	189,434	100.0	345,303	100.0
売上原価	149,497	78.9	278,951	80.8
売上総利益	39,937	21.1	66,351	19.2
販売費及び一般管理費	30,034	15.9	44,541	12.9
営業利益	9,903	5.2	21,810	6.3
営業外収益				
受取利息	7		11	
受取配当金	119		131	
為替差益	-		42	
助成金収入	62		112	
その他	81		261	
営業外収益合計	270	0.1	558	0.2
営業外費用				
支払利息	1		15	
商品廃棄損	-		411	
為替差損	27		-	
持分法による投資損失	684		795	
出資金運用損	237		253	
その他	77		219	
営業外費用合計	1,029	0.5	1,696	0.5
経常利益	9,144	4.8	20,672	6.0
特別利益				
固定資産売却益	-		1	
投資有価証券売却益	40		4,051	
貸倒引当金戻入益	93		-	
特別利益合計	133	0.1	4,053	1.1
特別損失				
固定資産除却損	33		112	
投資有価証券売却損	-		26	
投資有価証券評価損	631		2,279	
会員権評価損	42		93	
特別損失合計	707	0.4	2,511	0.7
税金等調整前当期純利益	8,570	4.5	22,213	6.4
法人税、住民税及び事業税	4,200	2.2	11,296	3.3
法人税等調整額	133	0.1	1,397	0.4
少数株主利益(損失：)	23	0.0	225	0.0
当期純利益	4,260	2.2	12,089	3.5

四半期連結貸借対照表

伊藤忠テクノサイエンス株式会社

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期 (平成14年12月31日)		前年度 (平成14年3月31日)		科 目	当第3四半期 (平成14年12月31日)		前年度 (平成14年3月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)		金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
(資産の部)					(負債の部)				
流動資産	123,821	84.1	148,538	84.9	流動負債	45,749	31.1	73,526	42.0
現金及び預金	31,900		23,965		支払手形及び買掛金	25,797		47,820	
受取手形及び売掛金	53,298		93,238		短期借入金	-		60	
たな卸資産	29,979		24,763		未払法人税等	1,197		5,664	
繰延税金資産	2,441		2,745		賞与引当金	1,497		3,264	
その他	6,338		4,403		その他	17,256		16,715	
貸倒引当金	137		578						
固定資産	23,355	15.9	26,443	15.1	固定負債	1,379	0.9	2,090	1.2
有形固定資産	3,148	2.1	3,009	1.7	長期借入金	-		110	
建物附属設備	1,174		1,220		繰延税金負債	-		411	
工具、器具及び備品	1,411		1,469		退職給付引当金	1,142		1,377	
貸与資産	562		319		役員退職慰労引当金	237		191	
無形固定資産	3,018	2.1	2,756	1.6	負債合計	47,129	32.0	75,616	43.2
ソフトウェア	2,849		2,588		(少数株主持分)				
その他	169		168		少数株主持分	822	0.6	951	0.6
投資その他の資産	17,188	11.7	20,677	11.8	(資本の部)				
投資有価証券	9,245		13,950		資本金	-	-	21,763	12.4
繰延税金資産	1,914		658		資本準備金	-	-	33,076	18.9
その他	6,448		6,191		連結剰余金	-	-	40,586	23.2
貸倒引当金	420		123		その他有価証券評価差額金	-	-	2,908	1.7
					為替換算調整勘定	-	-	83	0.0
					自己株式	-	-	3	0.0
					資本金	21,763	14.8	-	-
					資本剰余金	33,076	22.5	-	-
					利益剰余金	43,509	29.5	-	-
					その他有価証券評価差額金	841	0.6	-	-
					為替換算調整勘定	44	0.0	-	-
					自己株式	9	0.0	-	-
					資本合計	99,226	67.4	98,414	56.2
資産合計	147,177	100.0	174,982	100.0	負債、少数株主持分及び資本合計	147,177	100.0	174,982	100.0

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

伊藤忠テクノサイエンス株式会社

(単位：百万円)

摘 要	当第3四半期 (自平成14年4月1日 至平成14年12月31日)	前年度 (自平成13年4月1日 至平成14年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	8,570	22,213
減価償却費	1,362	1,829
貸倒引当金の増減額(減少：)	144	107
賞与引当金の増減額(減少：)	1,767	377
退職給付引当金の増減額(減少：)	235	378
役員退職慰労引当金の増減額(減少：)	45	78
受取利息及び受取配当金	126	142
支払利息	1	15
持分法による投資損失	684	795
出資金運用損	237	253
投資有価証券売却益	40	4,051
固定資産除却損	33	112
投資有価証券売却損	-	26
投資有価証券評価損	631	2,279
売上債権の増減額(増加：)	39,939	14,320
たな卸資産の増減額(増加：)	5,215	14,888
仕入債務の増減額(減少：)	22,023	7,681
未払消費税等の増減額(減少：)	1,678	1,784
その他の資産の増減額(増加：)	4,196	12
その他の負債の増減額(減少：)	2,225	2,489
その他損益(利益：)	-	3
役員賞与支払額	107	177
少数株主に負担させた役員賞与の支払額	3	4
小 計	18,195	31,494
利息及び配当金の受取額	125	144
利息の支払額	2	15
法人税等の支払額	8,667	15,717
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,651	15,906
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	177	887
有形固定資産の売却による収入	6	16
無形固定資産の取得による支出	549	1,333
投資有価証券の取得による支出	156	2,155
投資有価証券の売却による収入	1,126	3,269
短期貸付金の純減少額	-	11
長期貸付けによる支出	10	5
長期貸付金の回収による収入	61	82
その他投資に関する純支出額	477	527
投資活動によるキャッシュ・フロー	178	1,528
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純減少額	-	61
長期借入金の返済による支出	170	111
自己株式の売却による収入	-	1
自己株式の取得による支出	0	3
少数株主からの払込みによる収入	-	50
配当金の支払額	1,227	1,260
少数株主への配当金の支払額	102	122
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,500	1,508
現金及び現金同等物に係る換算差額	38	70
現金及び現金同等物の増加額	7,934	12,940
現金及び現金同等物の期首残高	23,965	11,024
現金及び現金同等物の期末残高	31,900	23,965

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結会計期間（自平成14年4月1日至平成14年12月31日）

（単位：百万円）

	システム事業	サポート事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	160,528	28,906	189,434	-	189,434
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	817	8,936	9,753	(9,753)	-
計	161,346	37,842	199,188	(9,753)	189,434
営業費用	159,805	25,865	185,670	(6,138)	179,531
営業利益	1,541	11,977	13,518	(3,615)	9,903

前連結会計年度（自平成13年4月1日至平成14年3月31日）

（単位：百万円）

	システム事業	サポート事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	311,338	33,965	345,303	-	345,303
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,548	15,043	16,591	(16,591)	-
計	312,886	49,008	361,895	(16,591)	345,303
営業費用	299,228	34,443	333,672	(10,178)	323,493
営業利益	13,658	14,565	28,223	(6,413)	21,810

（注）1. 事業区分の方法

事業は、当社グループのユーザに対するサービスの種類、性質、業務形態等の類似性により区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品・サービス

事業区分	主要製品・サービス
システム事業	総合情報システムの提案、システム設計・導入、コンピュータ・ネットワークシステムの販売、ネットワーク構築、ソフトウェア開発等
サポート事業	システムの保守サービス、テレマーケティングサービス、印刷・配送等の各種ビジネスサービス及びその他の事業

3. 営業費用のうち「消去又は全社」に含めた金額及びその主な内容は以下のとおりであります。（単位：百万円）

	当第3四半期	前年度	主な内容
消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額	3,977	7,000	当社の管理部門に係る費用

2. 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結会計期間（自平成14年4月1日至平成14年12月31日）及び前連結会計年度（自平成13年4月1日至平成14年3月31日）

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

3. 海外売上高

当第3四半期連結会計期間（自平成14年4月1日至平成14年12月31日）及び前連結会計年度（自平成13年4月1日至平成14年3月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

生産、受注及び販売の状況

1. 生産実績

当第3四半期連結会計期間及び前連結会計年度の生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。 (単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期 〔自平成14年4月1日 至平成14年12月31日〕		前年度 〔自平成13年4月1日 至平成14年3月31日〕	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
システム事業	176,350	49,423	307,149	33,602
サポート事業	32,007	16,597	31,890	13,496
合計	208,357	66,021	339,040	47,098

(注) 金額は製造原価によっており、消費税等は含まれておりません。

2. 商品仕入実績

当第3四半期連結会計期間及び前連結会計年度の商品仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。 (単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期 〔自平成14年4月1日 至平成14年12月31日〕		前年度 〔自平成13年4月1日 至平成14年3月31日〕	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
システム事業	124,266	-	220,914	-
サポート事業	-	-	-	-
合計	124,266	-	220,914	-

(注) 金額は仕入価格によっており、消費税等は含まれておりません。

3. 受注状況

当第3四半期連結会計期間及び前連結会計年度の受注状況を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。 (単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期 〔自平成14年4月1日 至平成14年12月31日〕		前年度 〔自平成13年4月1日 至平成14年3月31日〕	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
システム事業	176,350	49,423	307,149	33,602
サポート事業	32,007	16,597	31,890	13,496
合計	208,357	66,021	339,040	47,098

(注) 金額は販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。

4. 販売実績

当第3四半期連結会計期間及び前連結会計年度の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。
(単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期 〔自平成14年4月1日 至平成14年12月31日〕	前年度 〔自平成13年4月1日 至平成14年3月31日〕
システム事業	160,528	311,338
サポート事業	28,906	33,965
合計	189,434	345,303

(注) 1. 当第3四半期連結会計期間及び前連結会計年度における業種別の販売実績及びその構成比は次のとおりであります。
(単位：百万円)

業種	当第3四半期 〔自平成14年4月1日 至平成14年12月31日〕		前年度 〔自平成13年4月1日 至平成14年3月31日〕	
	売上高	構成比	売上高	構成比
通信・放送	51,522	27.2%	130,787	37.9%
電気	25,410	13.4	31,166	9.0
製造等	21,961	11.6	34,512	10.0
情報サービス	38,266	20.2	61,707	17.9
公共	9,116	4.8	21,578	6.2
商業・運輸	2,245	1.2	9,677	2.8
金融・保険	18,602	9.8	30,916	9.0
その他	22,309	11.8	24,957	7.2
合計	189,434	100.0	345,303	100.0

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(参考) 最近における四半期毎の業績の推移

平成15年3月期(連結)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期
	14年4月～14年6月	14年7月～14年9月	14年10月～14年12月
売上高	百万円 55,001	百万円 68,767	百万円 65,664
売上総利益	11,751	13,098	15,087
営業利益	1,584	2,370	5,947
経常利益	1,366	1,996	5,781
税金等調整前当期純利益	1,358	1,479	5,733
当期純利益	635	519	3,106
1株当たり当期純利益	円 10.33	円 8.45	円 50.53
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	-	8.44	-
総資産	百万円 150,408	百万円 149,237	百万円 147,177
株主資本	97,271	97,053	99,226
1株当たり株主資本	円 1,582.30	円 1,578.76	円 1,614.10
営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円 11,914	百万円 5,230	百万円 2,967
投資活動によるキャッシュ・フロー	858	308	727
財務活動によるキャッシュ・フロー	731	151	616
現金及び現金同等物期末残高	36,011	30,263	31,900